

専門家招き「防災授業」 神原中、自然災害を身近に



災害について話す鈴木教授（神原中
体育館で）

神原中（岡田浩典校長
179人）で21日、山口
大大学院創成科学研究科
の鈴木素之教授（同大地
域防災・減災センター長）
を招いた防災出前授業が
行われた。体育館に全校
生徒が集まり、自然災害
の発生メカニズムなどの

基礎知識や災害発生時の
避難行動、防災対策につ
いて学んだ。
鈴木教授は冒頭、「県
内の土砂災害の多さは全
国で何位だと思えます
か」と質問。生徒たちは
全国で3番目と知り、驚
いていた。スクリーンに

は地震や土石流の動画や
画像が映し出され、身近
な出来事だと実感した。
前半は地震発生の基礎
知識や過去の地震事例、
発生時の対応について、
後半は県内で多い台風や
集中豪雨による過去の被
災事例を紹介し、ハザード

ドマップやアプリを使っ
た具体的な対応策につい
ても説明した。

自然の力を数値でも示
し「速報から10秒でガス
を止めるなどできること
はある。慌てずに身の安全
を守って」と呼び掛けた。

3年の梶田煌生（こう
めい）君は家族でハザード
マップについて話した
経験がある。「土石流の数
10秒も石を押し流すエネ
ルギーに驚いた。県内は
災害が少ないが、地震や
台風などの怖さを知り、
防災への関心がさらに深
まった」と話した。